

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	222 社会福祉一般事務経費	会計	01	一般会計
		款	03	民生費
		項	01	社会福祉費
基本施策	03 高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	目	01	社会福祉総務費
		細目	183	社会福祉一般事務経費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	社会福祉一般事務経費
担当部課	コード	130100		担当者氏名
	名称	健康福祉部 厚生保護課		
		担当者氏名	橋本浩三	連絡先
				22 - 9650 (内線) 2610

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	伊賀市民	※対象件数
成果(どうする)	犯罪が減る等、暮らしやすい社会となる。悩み事、心配事が軽減解決できる。	
根拠法令・要綱等	伊賀保護司会会則 ・ 伊賀市行旅病人及び行旅死亡人の取扱いに関する要綱	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護司会に犯罪予防活動調査事業を委託し、保護観察官定期駐在日の相談や調査研究の実施、犯罪の予防と犯罪者の自立更生の事業を展開する。 ・更生保護女性の会の活動を助成する。 ・心配ごと相談事業を伊賀市社会福祉協議会に委託して、介護、子育て等の生活上の悩み相談に対する支援を行う。 ・行旅死亡人等の葬儀を行う。 	
社会情勢の変化等	平成19年度は、更生保護女性の会への助成金を減額した。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	保護司の研修会への参加率	%	目標 80 実績 80	目標 80 実績 80	80	80
	犯罪予防活動調査の実施	式	目標 27 実績 27	目標 27 実績 27	27	27

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	犯罪予防活動調査実施件数等		件	目標 27 実績 27	目標 27 実績 27	27	27
	心配ごと相談件数		件	目標 130 実績 97	目標 130 実績 60		

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	2,614	2,614	2,547	2,547
Aの財源内訳	国庫支出金			
	県支出金	278	278	278
	地方債			
	その他	0	0	
一般財源	2,336	2,336	2,269	2,547
事業投入人件費(B)	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600
フルコスト(A)+(B)	6,214	6,214	6,147	6,147

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 予算の繰越の有無 無 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。全体コストにおける負担構成は適正である。コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	心配ごと相談の実施状況、相談件数の実態と、経費に対しての効率性を確認する。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 保護観察官定期駐在による相談を本庁舎会議室において6日間開催し、また、心配事相談については、延べ60日間に渡り各地区市民センターを巡回し、16件の相談を受けた。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	橋本浩三
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 経常事務を行なうための経費のため必要である
現時点における課題、その他	特になし
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	